

環境変化の仕組の  
更なる解明のための調査  
- 平成18年度調査結果の概要 -

平成19年7月30日

農林水産省農村振興局

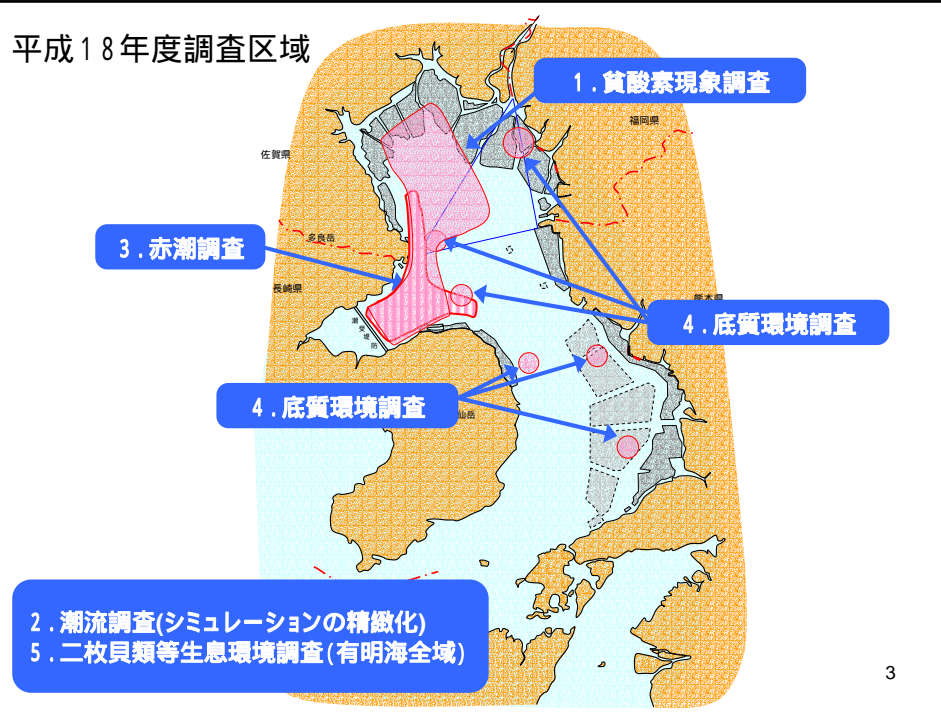
1

## 平成18年度調査の概要

調査項目	調査概要
1. 貧酸素現象調査	有明海の湾奥から諫早湾における鉛直酸素濃度その他の水質を連続的に調査
2. 潮流調査	観測データを活用してシミュレーションモデルを精緻化
3. 赤潮調査	諫早湾及び周辺海域において、赤潮状況、プランクトン沈殿量等を調査
4. 底質環境調査	有明海の多様な海域の底質を攪拌し、その前後の底質、底生生物等の変化を調査
5. 二枚貝類等生息環境調査	貝類の食害の原因と考えられているナルトビエイの分布、生態を調査

2

平成18年度調査区域



# 1. 貧酸素現象調査

**(目的)**

有明海における貧酸素水塊の発生、移動及び消滅の実態把握

**(調査期間)**

平成18年6月～9月

**(調査地点)**

農林水産省九州農政局・・・

鉛直連続観測 6地点

定点連続観測 2地点

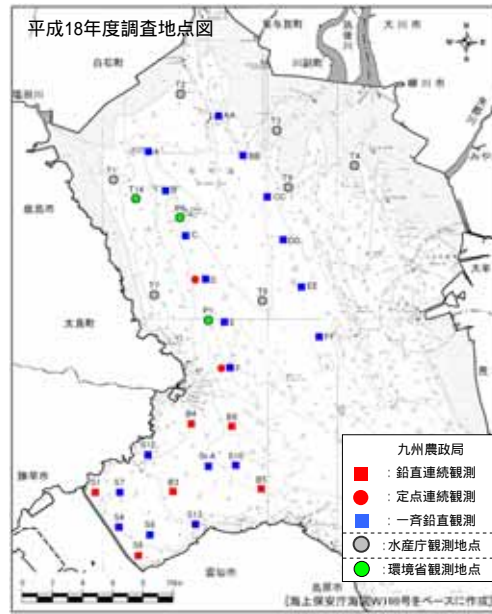
一斉鉛直観測 19地点

水産庁・・・定点連続観測 7地点

環境省・・・定点連続観測 3地点

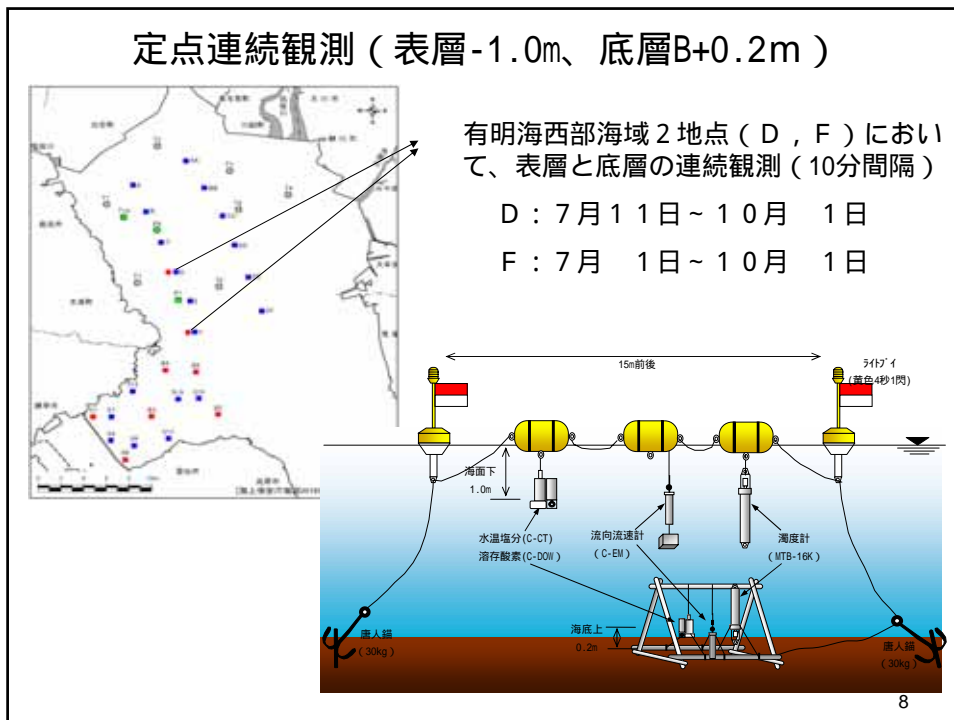
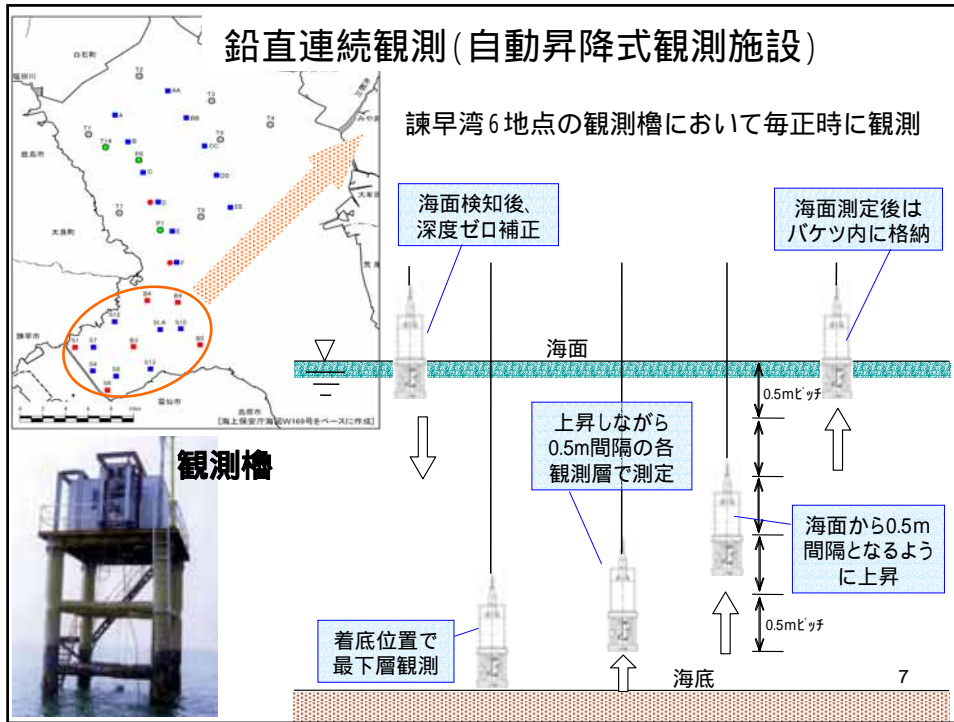
**(調査項目)**

水温、塩分、D O、濁度、クロロフィル



**九州農政局実施調査の観測内容**

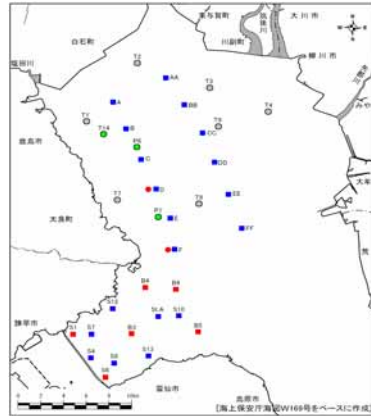
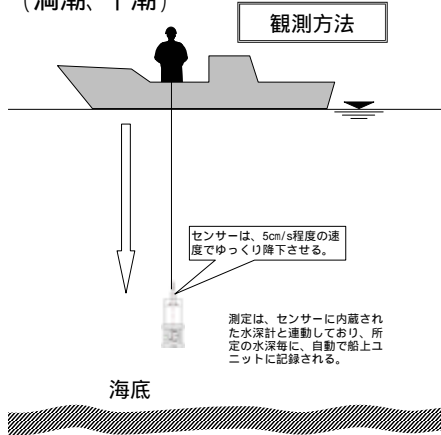
観測内容	観測海域及び地点名	観測水深	観測頻度	観測期間
鉛直連続観測 (自動昇降式)	諫早湾奥: S1, S6 諫早湾央: B3 諫早湾口: B4, B5 諫早湾外: B6	水面下0.5m毎 海底上0.1m	毎正時 (60分ごと)	(S1, B3, B4) 平成14年6月27日～ (S6, B5, B6) 平成15年10月24日～
定点 連続 観測	表層・底層 連続観測	有明海湾奥佐賀沖: D, F	水面下1.0m 海底上0.2m	10分ごと D: 7月11日～10月1日 F: 7月1日～10月1日
	24時間連続 鉛直観測	有明海湾奥佐賀沖: D, F	水面下0.5m毎 海底上0.2m	30分ごと 8月31日 18:00～ 9月1日 18:00(小潮)
12時間連続 鉛直観測	有明海湾奥佐賀沖: D, F	水面下0.5m毎 海底上0.2m	30分ごと	8月25日(大潮) 6:30～18:30 8月28日(中潮) 6:30～18:30 9月1日(小潮) 6:00～18:00
一斉鉛直観測 (19定点)	諫早湾湾奥: S4, S7, S8 湾央: S12, S13 諫早湾口: S10, St.A 有明海湾奥佐賀沖: A～F 有明海湾奥中央: AA～FF	水面下0.5m毎 海底上0.2m	・週1回 (満潮) ・4日連続 (満潮・干潮)	全24日、30回 6月: 1, 9, 16, 21, 26, 27日 : 28, 29日 (1日2回) 7月: 6, 13, 20, 27日 8月: 3, 21, 24, 31日 : 9, 10, 11, 12日 (1日2回) 9月: 7, 15, 21, 28日



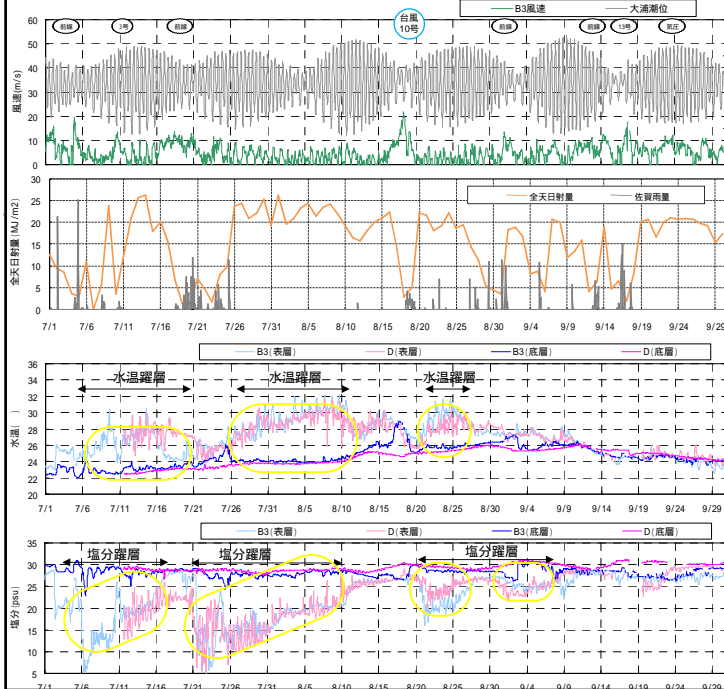
# 一斉鉛直観測

2006年は、19定点( )で、全30回(24日)

観測頻度は週1回(満潮時の前後1時間)。  
ただし、6/28,6/29,8/9~8/12は1日2回  
(満潮、干潮)



## B3、D地点における水温躍層と塩分躍層の形成状況(7月1日~10月1日)



塩分躍層は7月5日、7月20日、8月19日、9月1日の降雨に伴い、B3・D両地点で形成された。

水温躍層は7月中旬、7月末~8月上旬、8月下旬に晴天が持続したことで形成された。

